

きれいなグラウンドは、ふるさとへの自慢です！



「ゆら、ナイスシュート！」

ゴールを決めたチームメイトに、声をかける小学生。右へ左へ駆け回り、カラフルなサッカーボールを追いかけます。

蘇水公園多目的グラウンドでサッカーの練習をするのは、八百津FC Jr.の子どもたち。

まだ寒い2月の朝、この日は試合と重なったため高学年の選手は不在、3〜4年生を中心とした10名が練習に参加していました。

「人工芝のグラウンドは、どうですか？」という問いかけに、はずんだ笑顔で「最高！」と答えられました。

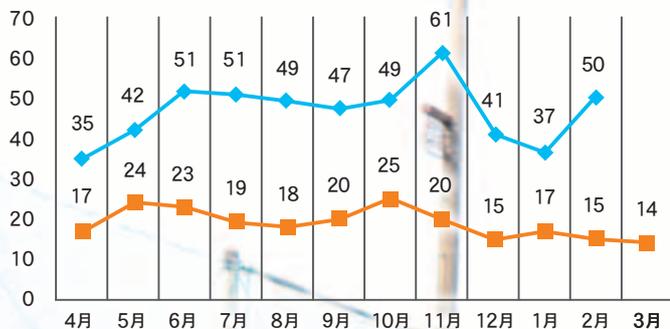
蘇水公園の多目的グラウンドが全面人工芝に生まれ変わってからは、もうすぐ1年が経ちます。今月は、全国的にもまだ珍しい、この全面人工芝グラウンドについて特集します。

蘇水公園多目的グラウンドがリニューアルオープンしたのは、昨年の4月1日でした。日本サッカー協会、岐阜県サッカー協会、日本スポーツ振興センターから助成を受け、およそ3ヶ月の工事期間を経て完成した人工芝グラウンドは、耐候性ポリエチレンを使用しています。

肌へのダメージを軽減し、高い衝撃吸収性・排水性で、より快適なコンディションで様々な競技やレクリエーションを楽しむことができます。

利用回数の比較

◆ H29年度 ■ H22～H27年度の平均



利用人数の比較

◆ H29年度 ■ H22～H27年度の平均

